令和８年度　習志野二中　全体研究構想図

【学校教育目標】　自ら学ぶ　人間性豊かで　たくましい生徒の育成

【目指す生徒像】
・学ぶ喜びを知り、学力の向上に努める生徒（知）
・自分を大切にし、他者を思いやる生徒（徳）
・心と体を鍛え、はつらつとした生徒（体）

【目指す教師像】
・教育に対する情熱が人一倍熱い教師
・ほめて伸ばす共感的指導で信頼を築く教師
・生徒と共に汗を流す教師
・研鑽に励み、切磋琢磨する教師
・生徒の主体的な学びを支援する教師

【研究主題】　「豊かな心をもち、自ら学ぶ生徒の育成」
～生徒の表現力を高める授業実践を通して～

【研究目標】
何を学ぶのかという学習内容を明確にし、どのように学ぶのかという学びの過程を組み立てる主体的・対話的で深い学びのある授業を展開し、生徒が自分の考えを様々な方法で表現することや協働的な学習活動を通して、主体的に学習に取り組む力の育成と確かな学力の定着を目指す。

【研究仮説】
(1)学習規律を確認し、各単元や授業の初めの学習活動の見通しと最後の振り返りを明確にすることで、生徒の学習意欲を高めることができるだろう。
(2)生徒指導の機能を生かした学習指導を各教科等で展開することで、誰もが安心して表現できる学習環境が醸成されるだろう。
(3)話し合い活動やプレゼンテーションなど、多様な表現手段に触れることで、より深い学びにつながるだろう。

【研究の方法】
(1)生徒とともに学習規律について考え、互いに信頼できる学習集団づくりを行う。
(2)生徒が学習課題への見通しを持ち、粘り強く取り組めるよう課題設定を工夫する。
(3)生徒が達成感を持ち、次の学びにつながるような振り返りの方法を設定する。
(4)校内研修を通して、生徒指導の機能を生かした学習指導を各授業で実践する。
(5)ICT や思考ツールを活用し、生徒が互いに意見や考えを表現しやすい学習形態を工夫する。
(6)学校行事など、生徒が表現することができる場を学校生活の中で意図的に設定する。

【指導の手立て】表現活動における指導の手立て（二中ＰＲＩＤＥ）

指導の手立て	生徒指導の４機能との関連	生徒の活動
（Preparation：準備） ・活動の流れや例を事前に示す。 ・思考を整理する時間を確保する。	③自己決定の場の提供 ④安全・安心な風土の醸成	○自分の考えを整理して、表現する・伝える準備をしよう！ ○授業の課題やめあてを明確にして、活動を始めよう！
（Rule：ルール） ・表現活動時のルールを明確化する。 ・聞き手の役割に着目させる。	②共感的な人間関係の育成 ④安全・安心な風土の醸成	○ルールに従い、表現活動しよう！ ○話し手・聞き手の役割を意識しよう！
（Interaction：相互作用） ・意見や発言をつなぐ意識を高める。 ・全員が参加できる表現活動を目標とする。	①自己存在感の感受 ②共感的な人間関係の育成	○意見や発言をつなぐ意識を高めよう！ ○表現活動に全員参加しよう！
（Discussion：話し合い） ・話し合い活動に対する価値付けを図る。 ・役割（司会・計時・記録）を明確化する。	①自己存在感の感受	○話し合い活動を通して、理解を深めよう！ ○役割を意識して、話し合い・学び合いを進めよう！(司会･計時･記録)
（Explanation：振り返り） ・ICT 機器を効果的に活用する。 ・自分の言葉でまとめる意識付けをする。	③自己決定の場の提供	○授業を振り返り、次につなげよう！ ○自分の言葉でまとめよう！

５教科分科会	技能教科分科会	特別支援学級分科会
国語・社会・数学・理科・英語	音楽・美術・保体・技家・道徳・特活・総合	知的・自閉情緒